

WHITE PAPER 2026

Googleサーチコンソール はじめての入門ガイド

導入・基本操作編

設定・GA4連携から、検索パフォーマンス、
インデックス、サイトマップまでを図解で解説

2026年10月 | アドマノ株式会社 | 東京SEOメーカー

CONTENTS

01

サーチコンソールを知る

役割・GA4との違い・できること

02

設定と連携

プロパティ・所有権の確認・GA4

03

検索パフォーマンスを読む

4つの指標・切り口・改善策

04

インデックスを確認する

URL検査・登録レポート・対処法

05

サイトマップを送信する

作り方・送信・エラー対処

Googleサーチコンソールをはじめて使う方が、設定から基本のレポート、インデックスとサイトマップまで理解できる構成です。

01 知る	02 設定と連携	03 検索パフォーマンス	04 インデックス	05 サイトマップ
✓ サーチコンソールとは ✓ GA4との違い ✓ できること	✓ プロパティのタイプ ✓ 所有権の確認 ✓ GA4との連携	✓ 4つの指標 ✓ 6つの切り口 ✓ 改善のヒント	✓ URL検査 ✓ 登録レポート ✓ 未登録の理由	✓ 作り方 ✓ 送信の手順 ✓ エラー対処
p.3~6	p.7~12	p.13~17	p.18~23	p.24~29

ページ右上の
ラベルの見方

Google公式情報の解説

Googleの一次情報を要約・図解

公式情報を基に整理

公式の内容を分かりやすく再構成

東京SEOメーカー独自の応用

実務での活かし方・独自の整理

※ 姉妹編の「GA4はじめてガイド」とあわせてお読みください。画面例・数値は説明用の模式図です。参照日：2026年10月19日

CHAPTER 01

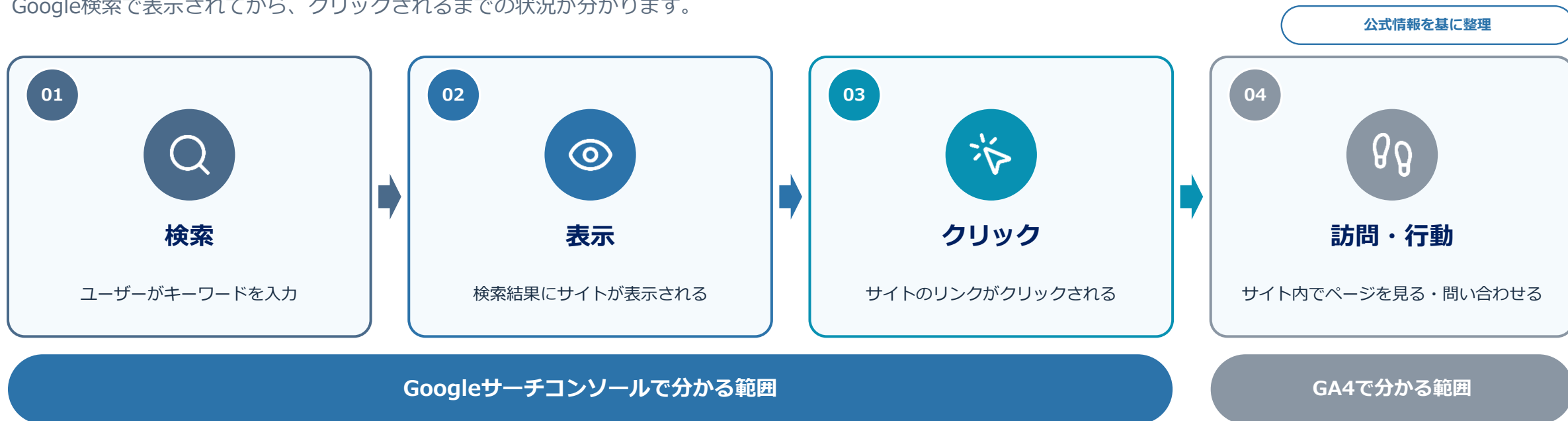
サーチコンソールを知る

サーチコンソールの役割と、GA4との違いを押さえます。

この章の内容

- p.4 サーチコンソールとは
- p.5 GA4との違いと役割分担
- p.6 サーチコンソールでできること

Google検索で表示されてから、クリックされるまでの状況が分かります。



サーチコンソールで分かること（例）



Googleが無料で提供するツールです。SEOに取り組むなら、GA4とあわせて最初に設定しておきましょう。

出典：Google Search Console（公式サイト） <https://search.google.com/search-console/about?hl=ja> / Google 検索セントラル「Google 検索の仕組み」 <https://developers.google.com/search/docs/fundamentals/how-search-works?hl=ja>

サーチコンソールは「サイトに来る前」、GA4は「サイトにきた後」を見るツールです。

公式情報を基に整理

	Googleサーチコンソール	GA4（Googleアナリティクス4）
見る範囲	サイトに来る前（Google検索での表示・クリック）	サイトにきた後（閲覧・行動・成果）
主なデータ	検索クエリ、表示回数、クリック数、CTR、平均掲載順位	ユーザー、セッション、イベント、キーイベント
対象の流入	Google検索のみ	検索・広告・SNS・AIなど、すべての流入
技術的な確認	インデックス登録、サイトマップ、URL検査	（対象外）
使う場面	どのキーワードで露出を増やすか考える	訪問者が成果につながっているか確かめる

2つを連携すると、「検索で表示されたキーワード」と「訪問後の行動」をあわせて分析できます（→ p.12）。

出典：Google Search Console（公式サイト） <https://search.google.com/search-console/about?hl=ja> / Google アナリティクス ヘルプ「Search Console と Google アナリティクスを接続する」 <https://support.google.com/analytics/answer/10737381?hl=ja>

検索の成果の確認から、技術的な問題の発見まで、無料で使えます。

Google公式情報の解説



検索パフォーマンス

クリック数・表示回数・CTR・掲載順位を、キーワードやページ別に確認



URL検査

特定のページがGoogleに登録されているか、問題がないかを確認



ページのインデックス登録

サイト全体で登録済み・未登録のページ数と、その理由を確認



サイトマップ

XMLサイトマップを送信し、読み込まれたかを確認



エクスペリエンス

Core Web Vitalsなど、ページの使いやすさに関する状況を確認



セキュリティと手動対策

サイトへの不正な改ざんや、ガイドライン違反による対策の有無を確認

この資料では、特に使う頻度の高い「検索パフォーマンス」「インデックス」「サイトマップ」を詳しく解説します。

出典 : Google Search Console (公式サイト) <https://search.google.com/search-console/about?hl=ja> / Search Console ヘルプ「検索パフォーマンス レポート」 <https://support.google.com/webmasters/answer/7576553?hl=ja>

CHAPTER 02

設定と連携

プロパティの追加、所有権の確認、GA4との連携を順番に進めます。

この章の内容

p.8 プロパティの2つのタイプ

p.9 設定の流れ

p.10 所有権の確認方法

p.11 WordPressで確認する

p.12 GA4と連携する

「ドメイン」と「URLプレフィックス」では、集計される範囲と確認方法が違います。

Google公式情報の解説

ドメイン

example.com

集計される範囲

- ✓ https://www.example.com
- ✓ http://example.com
- ✓ https://blog.example.com
- ✓ https://example.com/shop/

所有権の確認
DNSレコードでの確認のみ

URLプレフィックス

https://www.example.com

集計される範囲

- ✓ https://www.example.com/
- ✓ https://www.example.com/blog/
- ✗ http://www.example.com (別プロパティ)
- ✗ https://blog.example.com (別プロパティ)

所有権の確認
複数の方法から選べる

どちらを選ぶ？

サイト全体をまとめて見たい

→ ドメイン。サブドメインやhttp/httpsも含めて集計

DNSを設定できない

→ URLプレフィックス。HTMLタグなどで確認できる

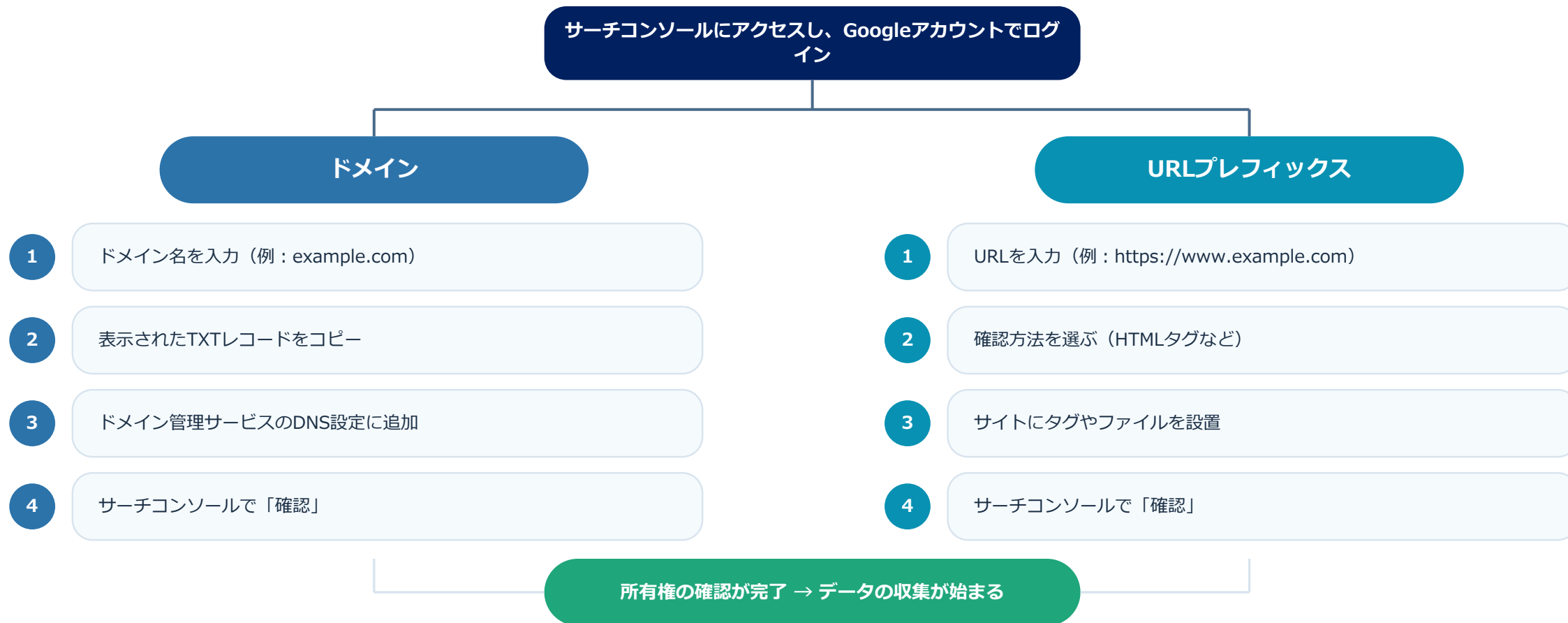
特定のディレクトリだけ見たい

→ URLプレフィックスで /blog/ などを指定

迷ったら、DNSの設定ができればドメイン、難しければURLプレフィックスを選びましょう。後から両方追加することもできます。

プロパティのタイプを選び、サイトの所有権を確認すれば準備完了です。

Google公式情報の解説



DNSの変更は反映に時間がかかることがあります。「確認」に失敗したら、少し待ってから再度試しましょう。

出典 : Search Console ヘルプ「プロパティを追加する」 <https://support.google.com/webmasters/answer/34592?hl=ja> / Search Console ヘルプ「サイトの所有権を確認する」 <https://support.google.com/webmasters/answer/9008080?hl=ja>

URLプレフィックスでは複数の方法から選べます。ドメインはDNSでの確認のみです。

Google公式情報の解説



HTMLファイル

指定のファイルをサイトのルートにアップロード

URLプレフィックス



HTMLタグ

トップページの<head>にmetaタグを追加

URLプレフィックス



Googleアナリティクス

設置済みのGoogleタグで確認（GAの編集権限が必要）

URLプレフィックス



Googleタグマネージャー

設置済みのコンテナで確認（公開または管理の権限が必要）

URLプレフィックス



ドメイン名プロバイダ（DNS）

DNSにTXTまたはCNAMEレコードを追加

ドメイン／URLプレフィックス



Googleサイト・Blogger

管理しているアカウントでログインすると自動で確認

サービスにより異なる

GA4やタグマネージャーで確認する場合は、サーチコンソールと同じGoogleアカウントを使う必要があります。

出典：Search Console ヘルプ「サイトの所有権を確認する」 <https://support.google.com/webmasters/answer/9008080?hl=ja>

プラグインの機能を使うと、テーマを直接編集せずに確認できます。

東京SEOメーカー独自の応用



プラグインで確認する

おすすめ

1

サーチコンソールで「HTMLタグ」を選び、metaタグ（content=の値）をコピー

2

SEOプラグインやSite Kit by Googleなどの、サーチコンソール連携・確認の欄に貼り付け

3

サーチコンソールに戻って「確認」

テーマを直接編集せずに済み、テーマを変えても外れにくい



テーマに直接書き込む

上級者向け

1

テーマファイル（header.php）をバックアップ

2

</head>の直前にmetaタグを貼り付けて保存

3

サーチコンソールに戻って「確認」

テーマ更新で消えることがある。消えると所有権の確認が外れる場合も

所有権の確認に使ったタグやファイルは、確認後も削除しないでください。削除すると確認が取り消されることがあります。

出典 : Search Console ヘルプ「サイトの所有権を確認する」 <https://support.google.com/webmasters/answer/9008080?hl=ja> / WordPress.org「Site Kit by Google」プラグイン <https://wordpress.org/plugins/google-site-kit/>

連携すると、GA4の画面で自然検索のクエリとランディングページを確認できます。

Google公式情報の解説

連携に必要な条件



GA4の編集者の権限

GA4のプロパティで「編集者」以上



サーチコンソールの確認済み所有者

連携の途中で確認することもできる



1対1で連携

1つのウェブデータストリームに1つのプロパティ

連携の手順

- 1 GA4の管理 > サービス間のリンク設定 > Search Consoleのリンク
- 2 サーチコンソールのプロパティを選ぶ
- 3 連携するウェブデータストリームを選んで送信

連携すると追加される2つのレポート

Google オーガニック検索クエリ

検索クエリごとのクリック数・表示回数・CTR・掲載順位

Google オーガニック検索トラフィック

ランディングページごとの検索データと、GA4の指標（エンゲージメントなど）

レポートは初期状態で非公開です。GA4の「ライブラリ」から「Search Console」のコレクションを公開すると、左メニューに表示されます。

連携後、データがGA4に表示されるまでには時間がかかることがあります。翌日以降に確認しましょう。

出典：Google アナリティクス ヘルプ「Search Console と Google アナリティクスを接続する」 <https://support.google.com/analytics/answer/10737381?hl=ja>

CHAPTER 03

検索パフォーマンスを読む

どんなキーワードで表示され、クリックされているかを分析します。

この章の内容

- p.14 4つの指標
- p.15 6つの切り口
- p.16 指標の組み合わせから改善策を考える
- p.17 クエリ分析の実践例

■ 検索パフォーマンスの4つの指標

表示回数・クリック数・CTR・平均掲載順位の関係を押さえましょう。

表示回数

検索結果にサイトが表示された回数

10,000回

クリック数

検索結果からサイトがクリックされた回数

300回

CTR（クリック率）

クリック数 ÷ 表示回数

3.0%

平均掲載順位



検索結果での、サイトの最上位の表示位置の平均

8.4位

Google公式情報の解説

読み方のコツ

- ✓ 表示回数 = 需要と露出の大きさ
- ✓ CTR = タイトルと説明文の魅力
- ✓ 順位は「平均」。期間やクエリで絞って見る

数値は架空の例です。初期表示は過去3か月。期間を変えたり、前の期間と比較したりできます。

出典：Search Console ヘルプ「検索パフォーマンス レポート」 <https://support.google.com/webmasters/answer/7576553?hl=ja>

クエリ・ページ・国・デバイス・検索での見え方・日付で、データを分けて確認できます。

Google公式情報の解説



クエリ

検索されたキーワード

→ どんな言葉で見つけられているか



ページ

検索結果に表示されたURL

→ どのページが検索に強いのか



国

ユーザーの国

→ 海外からの検索はあるか



デバイス

PC・モバイル・タブレット

→ スマホで順位やCTRが低いのか



検索での見え方

リッチリザルトなどの表示形式

→ 特別な表示が獲得できているか



日付

日ごとの推移

→ いつから変化したか

「クエリ」と「ページ」を組み合わせると、「このページはどんなキーワードで表示されているか」が分かります。

フィルタで「クエリに○○を含む」「ページが△△」などと絞り込むと、知りたいデータだけを確認できます。

出典 : Search Console ヘルプ「検索パフォーマンス レポート」 <https://support.google.com/webmasters/answer/7576553?hl=ja>

表示回数・CTR・掲載順位を組み合わせると、ページごとの打ち手が見えてきます。

東京SEOメーカー独自の応用



タイトルは検索結果での第一印象。Googleは、ページ内容を具体的かつ簡潔に表すタイトルを勧めています。

出典：Search Console ヘルプ「検索パフォーマンス レポート」 <https://support.google.com/webmasters/answer/7576553?hl=ja> / Google 検索セントラル「タイトルリンク」 <https://developers.google.com/search/docs/appearance/title-link?hl=ja>

「表示は多いのにクリックが少ない」キーワードは、すぐに改善できるチャンスです。

東京SEOメーカー独自の応用

クエリ	表示回数	クリック数	CTR	掲載順位	判断
SEO 対策 費用	8,200	62	0.8%	6.1	表示は多いがCTRが低い → タイトル改善
SEO 外注 選び方	2,400	120	5.0%	3.2	好調 → 関連記事への導線を強化
SEO 内部対策 チェック	3,100	40	1.3%	14.5	2ページ目 → リライトで上位を狙う
SEO 会社 東京	650	48	7.4%	4.0	CTR高い → 関連語で露出拡大

※ クエリと数値は説明用の架空のデータです

CTRを上げるタイトル改善

- ✓ 検索キーワードを前半に入れる
- ✓ 読むと何が分かるかを具体的に書く
- ✓ ページごとに固有のタイトルにする

順位を上げるリライト

- ✓ 上位ページと検索意図を比べる
- ✓ 足りない情報・独自の情報を加える
- ✓ 関連ページから内部リンクを張る

改善したら日付をメモし、数週間後に同じクエリの指標を比べて効果を確認しましょう。

出典 : Google 検索セントラル「タイトルリンク」 <https://developers.google.com/search/docs/appearance/title-link?hl=ja> / Google 検索セントラル「スニペット (meta description)」 <https://developers.google.com/search/docs/appearance/snippet?hl=ja>

CHAPTER 04

インデックスを確認する

ページがGoogleに登録されているかを確認し、問題があれば対処します。

この章の内容

- p.19 インデックスとURL検査ツール
- p.20 ページのインデックス登録レポート
- p.21 未登録の主な理由と対処法
- p.22 robots.txt ・ noindex ・ canonical
- p.23 インデックス登録のリクエスト

ページがGoogleに登録されているかを、1ページずつ確認できます。

Google公式情報の解説



インデックスされていないページは、検索結果に表示されません

新しく公開したページや、検索に出てこないページは、URL検査ツールで状態を確認しましょう。

URLはGoogleに登録されています

URLがGoogleに登録されていません

↑ URL検査の結果の表示例（イメージ）

URL検査で分かること

- ✓ Googleに登録されているか
- ✓ 最後にクロールされた日時
- ✓ クロール・インデックスが許可されているか
- ✓ Googleが選んだ正規URL（canonical）
- ✓ 公開中のページのテスト（ライブテスト）

URL検査は、画面上部の検索窓に調べたいページのURLを入力するだけで使えます。

出典：Google 検索セントラル「Google 検索の仕組み」 <https://developers.google.com/search/docs/fundamentals/how-search-works?hl=ja> / Search Console ヘルプ「URL 検査ツール」 <https://support.google.com/webmasters/answer/9012289?hl=ja>

サイト全体で、登録されているページと、登録されていないページの数と理由が分かります。

Google公式情報の解説

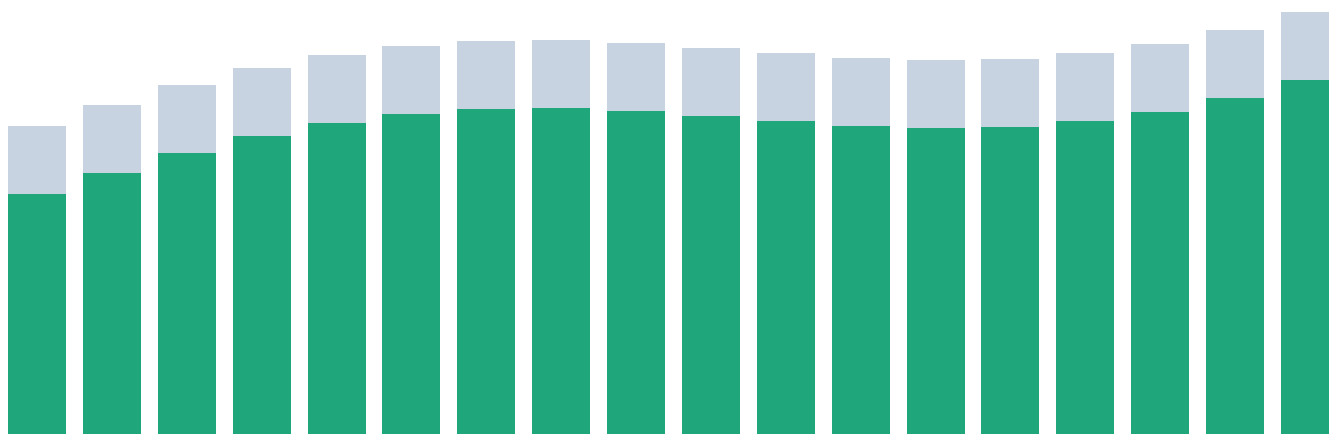
ページのインデックス登録（画面のイメージ）

未登録

312

登録済み

1,240



■ 登録済み ■ 未登録 （数値・グラフは模式図）

見るときのポイント

すべてのURLが登録されるとは限らない

重複ページや内容の乏しいページは登録されないことがある

重要なページが登録されているか

サービス・主要記事など、見てほしいページを優先して確認

「未登録の理由」を確認

表の理由をクリックすると、対象のURL一覧が見られる

左メニューの「インデックス作成」>「ページ」から開けます。未登録の数を減らすことより、重要なページの登録を優先しましょう。

出典：Search Console ヘルプ「ページのインデックス登録レポート」 <https://support.google.com/webmasters/answer/7440203?hl=ja>

理由によっては対処が不要なものもあります。優先順位を付けて確認しましょう。

Google公式情報の解説

未登録の理由（表示名）	どういう状態か	対処の目安
見つかりませんでした（404）	ページが存在しない	● 削除したページなら対処不要。移転ならリダイレクト
代替ページ（適切な canonical タグあり）	正規URLを指定した別バージョンのページ	● 意図どおりなら対処不要
noindex タグによって除外されました	noindexの指定で登録が止められている	● 登録したいページなら、noindexを外す
robots.txt によりブロックされました	robots.txtでクロールが止められている	● 登録したいページなら、ブロックを解除
ページにリダイレクトがあります	別のURLへ転送されている	● 転送先が正しく登録されていれば対処不要
クロール済み - インデックス未登録	クロールされたが、まだ登録されていない	● 内容の独自性や価値を見直す
検出 - インデックス未登録	見つかったが、まだクロールされていない	● 内部リンク・サイトマップを確認

● 緑 = 多くは対処不要 ● 黄 = 意図と違えば修正 ● 赤 = ページの質や導線を見直す。表示名は画面の更新で変わることがあります。

出典：Search Console ヘルプ「ページのインデックス登録レポート」 <https://support.google.com/webmasters/answer/7440203?hl=ja>

似た言葉ですが、働く段階と目的が違います。

公式情報を基に整理



robots.txt

クローलを制御

「このURLを見に来ないで」とGooglebotに伝える

書く場所

サイトのルートに置くテキストファイル

検索結果から確実に消したいときには使わない（**noindex**を使う）



noindex

インデックスを制御

「このページは登録しないで」と伝える

書く場所

metaタグ、またはHTTPヘッダー

robots.txtでブロックすると、noindexが読まれな
い



canonical

正規URLを伝える

「似たページの代表はこのURL」と伝える

書く場所

<link rel="canonical">など

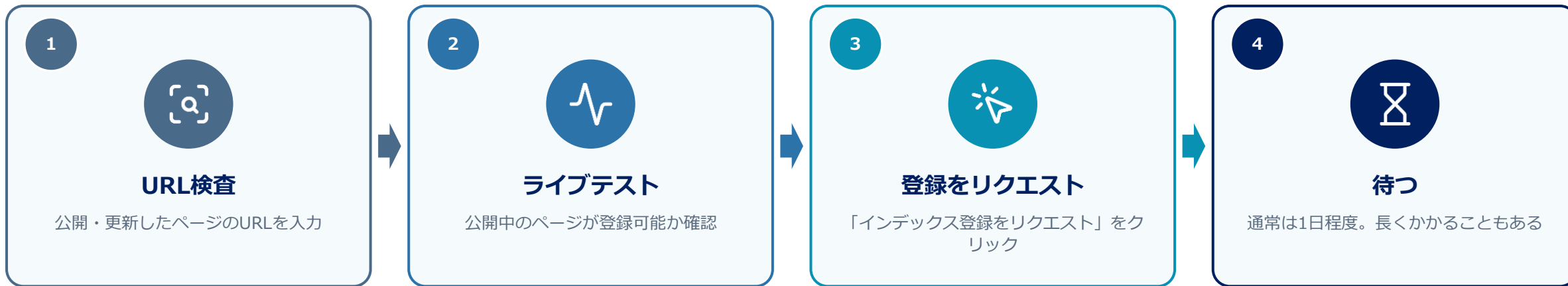
重複ページの評価を代表URLにまとめる

誤ってrobots.txtやnoindexで重要なページを止めていないか、サイト公開時やリニューアル時に必ず確認しましょう。

出典：Google 検索セントラル「robots.txt の概要」 <https://developers.google.com/search/docs/crawling-indexing/robots/intro?hl=ja> / Google 検索セントラル「noindex を使用してインデックス登録をブロックする」 <https://developers.google.com/search/docs/crawling-indexing/block-indexing?hl=ja>
Google 検索セントラル「重複した URL を統合する（canonical）」 <https://developers.google.com/search/docs/crawling-indexing/consolidate-duplicate-urls?hl=ja>

ページを新しく公開したり大きく更新したりしたときに使います。

Google公式情報の解説



登録は保証されない

リクエストしても、必ずインデックスされるわけではありません。



1日の上限がある

リクエスト・検査の回数には、プロパティごとに1日の上限があります。



多くのページはサイトマップで

大量のURLを知らせたいときは、サイトマップの送信がおすすめです。

何度もリクエストしても、クロールが早まることはありません。1回送ったら結果を待ちましょう。

出典：Search Console ヘルプ「URL 検査ツール」 <https://support.google.com/webmasters/answer/9012289?hl=ja> / Google 検索セントラル「Google にサイトの再クロールをリクエストする」 <https://developers.google.com/search/docs/crawling-indexing/ask-google-to-recrawl?hl=ja>

CHAPTER 05

サイトマップを送信する

サイトのページをGoogleに知らせるサイトマップの作り方と送り方です。

この章の内容

- p.25 サイトマップとは
- p.26 XMLサイトマップの作り方
- p.27 サイトマップを送信する
- p.28 ステータスとエラーの対処
- p.29 はじめの1か月チェックリスト
- p.30 参考資料

サイトのページの一覧を、人や検索エンジンに伝えるためのものです。

公式情報を基に整理



HTMLサイトマップ

人のためのサイトマップ

- ✓ ページの一覧をリンクで並べたWebページ
- ✓ 訪問者が目的のページを探しやすくなる
- ✓ サイトの全体像を伝えられる

例 : /sitemap/ のページ



XMLサイトマップ

検索エンジンのためのサイトマップ

- ✓ URLの一覧をXML形式で書いたファイル
- ✓ Googleにページの存在や更新を伝える
- ✓ サーチコンソールから送信できる

例 : /sitemap.xml

XMLサイトマップが役立つサイト

- ✓ ページ数が多い
- ✓ 公開したばかりで外部リンクが少ない
- ✓ 内部リンクでたどりにくいページがある
- ✓ 動画や画像が多い

小規模で内部リンクが整っていれば、なくても見つけてもらえることがあります

この章では、Googleに送信する「XMLサイトマップ」を中心に説明します。

出典 : Google 検索セントラル「サイトマップについて」 <https://developers.google.com/search/docs/crawling-indexing/sitemaps/overview?hl=ja>

CMSの機能やプラグイン、作成ツールを使えば、手作業で作る必要はありません。

公式情報を基に整理



CMSの標準機能

かんたん

WordPress・Wix・Bloggerなど

多くのCMSは、検索エンジン向けのサイトマップを自動で用意している（WordPressは /wp-sitemap.xml）



プラグイン

かんたん

WordPressなど

SEOプラグインやサイトマップ用プラグインで作成・自動更新



作成ツール

ふつう

CMSを使っていないサイト

サイトのURLを入力すると、sitemap.xmlを作成できるツールを使い、サーバーにアップロード



手作業・プログラム

制作者向け

大規模サイトなど

XML形式で作成。URLが多い場合はサイトマップを分割し、インデックスファイルにまとめる

作るときのルール

1ファイルの上限

50,000 URL、または50MB（非圧縮）まで

絶対URLで書く

https://から始まる完全なURLを使う

載せるのは正規URL

検索結果に表示させたいページを載せる

まずは自分のサイトのURLの後ろに /sitemap.xmlや /wp-sitemap.xmlを付けて、すでにサイトマップがあるか確かめてみましょう。

出典：Google 検索セントラル「サイトマップの作成と送信」 <https://developers.google.com/search/docs/crawling-indexing/sitemaps/build-sitemap?hl=ja>

サーチコンソールの「サイトマップ」から、URLを入力して送信します。



新しいサイトマップの追加（画面のイメージ）

送信されたサイトマップ	ステータス	検出されたページ
/sitemap.xml	成功しました	1,520

- 知っておきたいこと
- ✓ 送信には所有者の権限が必要
 - ✓ robots.txtに「Sitemap:」で書く方法もある
 - ✓ 送信してもクロールが保証されるわけではない

サイトマップは1度送信すれば、Googleが定期的に読み込みます。ページを追加しても、自動更新されていれば再送信は不要です。

出典：Search Console ヘルプ「サイトマップ レポート」 <https://support.google.com/webmasters/answer/7451001?hl=ja> / Google 検索セントラル「サイトマップの作成と送信」 <https://developers.google.com/search/docs/crawling-indexing/sitemaps/build-sitemap?hl=ja>

送信後はステータスを確認し、「成功しました」以外なら原因を調べます。

公式情報を基に整理



成功しました

エラーなく取得・読み込みができた



対処不要。検出されたページ数を確認



エラーあり

取得できたが、一部に問題がある



行をクリックしてエラーの詳細を確認し、該当部分を修正



取得できませんでした

サイトマップのファイルを取得できない



URLの誤り、404、robots.txtのブロック、サーバーの一時的な不具合を確認

よくある原因のチェック

- ✓ ブラウザでサイトマップのURLを開けるか
- ✓ サイトマップに載せたURLが正しい（404や転送先でない）か
- ✓ XMLではなくHTMLのページを送っていないか
- ✓ サイトを大きく変更したら、サイトマップも更新されているか

ステータスの表示名は画面の更新で変わることがあります。詳しい原因は、各行をクリックした詳細画面で確認できます。

出典：Search Console ヘルプ「サイトマップ レポート」 <https://support.google.com/webmasters/answer/7451001?hl=ja>

設定から最初の改善まで、この順番で進めましょう。

東京SEOメーカー独自の応用



Week 1 : 設定

- ☐ プロパティを追加（ドメイン推奨）
- ☐ 所有権を確認
- ☐ GA4と連携し、コレクションを公開



Week 2 : サイトマップ

- ☐ サイトマップの有無を確認
- ☐ サイトマップを送信
- ☐ ステータスが「成功」か確認



Week 3 : インデックス

- ☐ 重要ページをURL検査で確認
- ☐ 未登録の理由を確認
- ☐ 誤ったnoindex・robots.txtがないか



Week 4 : 検索パフォーマンス

- ☐ 上位クエリとページを把握
- ☐ 表示多・CTR低のページを1つ改善
- ☐ 改善日をメモして効果を比較

その後の定期チェック

毎週 検索パフォーマンスの推移

毎月 ページのインデックス登録

随時 公開・更新ページのURL検査

随時 メッセージ・手動対策の通知

姉妹編「GA4はじめてガイド」とあわせて活用

サーチコンソールは設定した日からデータがたまります。まずは設定を済ませて、毎週見る習慣を作りましょう。

出典 : Search Console ヘルプ「プロパティを追加する」 <https://support.google.com/webmasters/answer/34592?hl=ja> / Google アナリティクス ヘルプ「Search Console と Google アナリティクスを接続する」 <https://support.google.com/analytics/answer/10737381?hl=ja>
Search Console ヘルプ「サイトマップ レポート」 <https://support.google.com/webmasters/answer/7451001?hl=ja> / Search Console ヘルプ「ページのインデックス登録レポート」 <https://support.google.com/webmasters/answer/7440203?hl=ja>

本資料の根拠としたGoogle公式の情報です。クリックで開けます。

Google公式情報の解説

1	Google Search Console (公式サイト)	https://search.google.com/search-console/about?hl=ja	11	Search Console ヘルプ「ページのインデックス登録レポート」	https://support.google.com/webmasters/answer/7440203?hl=ja
2	検索セントラル「Google 検索の仕組み」	https://developers.google.com/search/docs/fundamentals/how-search-works?hl=ja	12	検索セントラル「robots.txt の概要」	https://developers.google.com/search/docs/crawling-indexing/robots/intro?hl=ja
3	Search Console ヘルプ「プロパティを追加する」	https://support.google.com/webmasters/answer/34592?hl=ja	13	検索セントラル「noindex を使用してインデックス登録をブロックする」	https://developers.google.com/search/docs/crawling-indexing/block-indexing?hl=ja
4	Search Console ヘルプ「サイトの所有権を確認する」	https://support.google.com/webmasters/answer/9008080?hl=ja	14	検索セントラル「重複したURLを統合する (canonical)」	https://developers.google.com/search/docs/crawling-indexing/consolidate-duplicate-urls?hl=ja
5	GAヘルプ「Search Console と Google アナリティクスを接続する」	https://support.google.com/analytics/answer/10737381?hl=ja	15	検索セントラル「Google にサイトの再クロールをリクエストする」	https://developers.google.com/search/docs/crawling-indexing/ask-google-to-recrawl?hl=ja
6	WordPress.org「Site Kit by Google」プラグイン	https://wordpress.org/plugins/google-site-kit/	16	検索セントラル「サイトマップについて」	https://developers.google.com/search/docs/crawling-indexing/sitemaps/overview?hl=ja
7	Search Console ヘルプ「検索パフォーマンス レポート」	https://support.google.com/webmasters/answer/7576553?hl=ja	17	検索セントラル「サイトマップの作成と送信」	https://developers.google.com/search/docs/crawling-indexing/sitemaps/build-sitemap?hl=ja
8	検索セントラル「タイトルリンク」	https://developers.google.com/search/docs/appearance/title-link?hl=ja	18	Search Console ヘルプ「サイトマップ レポート」	https://support.google.com/webmasters/answer/7451001?hl=ja
9	検索セントラル「スニペット (meta description)」	https://developers.google.com/search/docs/appearance/snippet?hl=ja	19	検索セントラル「SEO スターター ガイド」	https://developers.google.com/search/docs/fundamentals/seo-starter-guide?hl=ja
10	Search Console ヘルプ「URL 検査ツール」	https://support.google.com/webmasters/answer/9012289?hl=ja			

参照日：2026年10月19日。仕様に関する記述はGoogle公式の情報で確認し、文章・図は独自に作成しています。画面例・数値は模式図・架空のデータです。

COMPANY

会社概要

東京SEOメーカーの理念と、これまでの支援実績をご紹介します。



経営理念

「利他」と「挑戦」で 明日をつくる

世の為、人の為に活躍する愛情深い企業の発展を一社でも多くサポートし、利他と愛と感謝を世界に増やす。

**高水準なWEBマーケティングの知見とSEO技術で、より多くの企業を
世界基準へ。**

SEO専門のデジタルマーケティングカンパニーとして全てのお客様と成功まで伴走します。
弊社は、長年にわたるGoogleアルゴリズムの研究と検証で上位表示のSEOノウハウと
SEO技術を蓄積してきました。

アメリカの最先端のデジタルマーケティングを研究することにより世界基準の高水準な
WEBマーケティングをご提供しています。

東京から世界基準のマーケティングを皆様にお届けできるよう日々スタッフ一同努力精進
してまいります。

弊社のご紹介

SEO・AIO/LLMO専門のデジタルマーケティングカンパニー

東京SEOメーカー

<https://www.switchitmaker2.com/>

2,000社+

支援実績 / 創業15年

YouTube

会員登録 30,000人

7冊

SEO関連書籍出版



確かな戦略コンサルで企業収益を最大化



15年で2,000社以上のクライアント様のWEB集客を支援。20人の少数精鋭ながら大手企業、上場企業の支援多数。



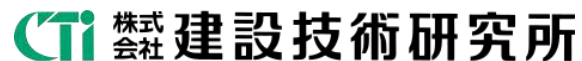
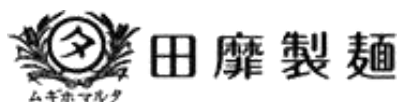
検索エンジンのアルゴリズムを長年研究し「独自ノウハウ」を蓄積。



Google検索【SEOコンサルティング】【SEO東京】【海外SEO】【格安SEO】【格安LLMO】など多数のワードで長年にわたり検索順位上位獲得。600以上のSEO関連ワードで1ページ目以内にランクイン。



国内企業様 取引先一例



グローバル企業様 取引先一例



検索での「見え方」を知り、
小さく改善を重ねる
まずは設定して、毎週見る習慣を

姉妹編「GA4はじめてガイド」とあわせて活用しましょう。

<https://www.switchitmaker2.com/seo-learn/>